

現場の即応力強化に重点的に振り向けることが求められると思います。ほかの分野の事業についても効果の乏しいものをこの際検証して、限られた財源を市民の命が守られる取組に重点化すべきではないかというふうに考えます。

そして、熊対策の本質というのは、単なる動物被害防止ではなくて、地域社会をどう守るかという問いそのものでもあります。やはり里山に人が行かなくなったというようなことで、おいしく食べ物にありつける人間の生活圏に入ってきているというのが現状ですから、そういうようなことも踏まえてお考えいただければというふうに思います。

先ほども申しましたが、国の借金がやはり1,300兆円を超えていますから、糸魚川市も、糸魚川市だけではなくて地方自治体は、国の補助金、給付金にばかり頼ってられないというふうに思います。それが、補助金とか給付金とかで来るというのは、結局、次の世代へのツケを回すことになりますので、そこがやはり思案のしどころだというふうに思います。

地方の自治体が、積極的に自らの力で取り組むことが、逆に国の総力を高める、地方自治の強化につながると考えております。

糸魚川市は、糸魚川市民の皆さんのために、自らの判断と責任で市民の生命と暮らしを守る。そのためには、今、糸魚川市にも自助の精神、災害等でよく自助、共助、公助と言われますが、行政においても自助の精神が求められているのではないかということ提言させていただいて、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○副議長（保坂 悟君）

以上で、和泉議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。

再開を2時5分といたします。

〈午後1時59分 休憩〉

〈午後2時05分 開議〉

○副議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、利根川 正議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。〔6番 利根川 正君登壇〕

○6番（利根川 正君）

利根川 正です。

1回目の質問をお願いします。

1、市長との地区懇談会と（仮称）駅北子育て支援複合施設の見直し方針の説明について。

11月末まで久保田市長との地区懇談会が13の地区で実施されました。市民一人一人の声を傾け、市民と共に考え、納得解を得ながら共に行動することで、持続可能で活力あるまちづくり

を進めることを基本理念として、7つの重点施策と（仮称）駅北子育て支援複合施設の見直し方針について説明がありました。

これらを踏まえ、以下伺います。

(1) 重点施策1の医療・福祉の充実について。

- ① 地域医療構想をどのように進めていくか伺います。
- ② 富山大学附属病院との今までの関わりについて、どのように考えているか伺います。
- ③ 糸魚川総合病院の救急医療体制について、今後どのように進めていくか伺います。
- ④ 医師及び看護師確保についての考えを伺います。
- ⑤ 訪問診療、リモート診療を今後どのように進めていくか、伺います。
- ⑥ 福祉の分野で独り暮らしの高齢者の支援をどのように進めていくか伺います。

(2) 重点施策2の教育の推進について。

- ① 保育園、幼稚園、学校の在り方や適正配置の検討とありますが、市長は学校の統廃合で、中学校単位を基本として一貫教育を上げており、糸魚川市立学校教育環境整備方針の中でどのように進めていくのか伺います。
- ② 質の高い教育環境をどのように進めていくか、考えを伺います。
- ③ 少数教育できめ細かな指導ができる特認校をどう考えているか伺います。

(3) 重点施策3の経済活性化について。

- ① ヒスイを活用したもうかる観光の考えはあるか伺います。
- ② 白馬村、小谷村、妙高市と連携した広域観光の考えを伺います。
- ③ インバウンド客のための情報発信をどのように考えているか伺います。
- ④ 冬の外国人スキー客、旅行客を取り込む考え、また、交通手段をどのように考えているか伺います。
- ⑤ 観光シーズンと市内企業の定期修繕期間が重なり、宿泊の予約が取れない状況となっており、改善策が取れないか伺います。
- ⑥ マリンドリーム能生内、能生漁港周辺のドコモ通信環境整備の改善ができないか伺います。
- ⑦ イベント事業維持、継続のための事務局を支援する組織ができないか伺います。

(4) （仮称）駅北子育て支援複合施設の見直し方針について。

市長は、市民の意見、財政負担を理由に建設の方針を見直し、これまで検討を重ね、議会の議決を経て進めてきた、（仮称）駅北子育て支援複合施設の建設計画を中止し、代わりに汎用性のある広場への見直しを決定しました。

計画中止に伴い、基本協定の解約金として539万円、新築工事設計業務委託の出来高払いとして約3,400万円、合計で約3,940万円が支払われます。また、解体後、広場の整備が進められていく計画ですが、以下、市長の考えを伺います。

- ① 駅前道路を挟み、海望公園の施設と重複するものがあり、有効活用の面からもトイレ、広場の噴水、見晴台など、海望公園での活用で十分できると考えますが、市長の考えを伺います。
- ② 市民の意見として、広場は町なかでもあり、子供たちが大きな声で遊ぶ場所として騒音

など問題でないかと意見がありましたが、対策を伺います。

- ③ 図書館という意見もありましたが、市長の何十億をかけて造る必要がなく、小学校へ図書館を持っていく考え方について伺います。
- ④ 広場として、夏の熱中症警戒アラート時、冬の時期の活用についての考えを伺います。
- ⑤ 町なかスケートボード場として、園児から大人まで楽しむ場所にできないか伺います。
- ⑥ 解体後、更地か駐車場として、今後検討する考えはないか伺います。

2、熊の対策について。

(1) 今年の熊の出没が多く発生しており、早急の対策が求められますが、令和6年度市内での熊目撃も1月20日前後まで出没しており、雪のない状態では冬眠はせず、動き回ることが予想され、さらに注意が必要と考えます。

以下、熊対策について伺います。

- ① 餌となる柿の木の伐採に補助金を支給できないか伺います。
- ② 銃の使用経験のある警察官、自衛隊のOBの方に狩猟免許を取得してもらい、職員として2名体制で雇用できないか。また、現在狩猟免許を持ち、移住を考えている方も含めて進められないか伺います。
- ③ 美山公園など、出没する箇所が決まっており、その周りに電気柵の設置、緩衝帯の整備等、対策を実施できないか伺います。
- ④ 箱わなを増産してもらい設置する必要があり、監視もセンサーカメラ等を使い対策ができないか伺います。
- ⑤ 住宅地では銃の使用は難しく、麻酔による捕獲には、どのような条件が必要か伺います。
- ⑥ 森林環境譲与税を活用して、出没が多い箇所の森林の伐採を進められないか伺います。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

利根川議員のご質問にお答えいたしたいと思えます。

1番目の1点目の1つ目につきましては、当市に必要な医療体制が確実に構築されるよう、その早期実現を県へ働きかけながら、近隣市、医療関係者とも連携して、進めてまいります。

2つ目につきましては、医師派遣や高度専門医療に関する助言など多大な協力をいただいております、当市の医療を支える重要な関係であると捉えております。

3つ目につきましては、糸魚川総合病院が担う救急医療は当市に不可欠であり、引き続き市医師会や病院と連携・協力し、必要な救急医療体制を確保してまいります。

4つ目につきましては、医師や看護婦の確保は、地域医療の根幹を支える重要な課題の一つであります。引き続き、学生への就学支援等による地元就職の促進を図るとともに、地域医療構想に基づく医療人材派遣の早期実現に取り組んでいく必要があると考えております。

5つ目につきましては、高齢化が進む中、訪問医療やオンライン診療の拡充は、今後の地域医療を守る上で重要な取組であると考えております。市医師会や病院、県とも連携し、地域に合った診

療方法により、誰もが必要な医療を受けられる体制を構築できるよう取り組んでまいります。

6つ目につきましては、一人暮らし安否確認事業や見守り支援ネットワーク事業などを実施しておりますが、今後はさらに、地域住民同士による支え合い支援を進めてまいります。

2点目の1つ目につきましては、糸魚川市立学校教育環境整備方針に基づき、来年6月をめどに教育環境整備計画を策定するよう検討を進めております。

2つ目につきましては、子ども一貫教育を継続的に実施し、地域と共に歩む学校づくりや、安全・安心で豊かな教育環境の提供を重要な視点と捉え、進めてまいります。

3つ目につきましては、現時点では特認校の設置は考えておりません。

3点目の1つ目につきましては、本市が誇るヒスイを守るとともに、歴史文化的な価値や神話のストーリーなどの魅力を付加し、持続可能な「稼ぐ観光」につなげたいと考えております。

2つ目につきましては、それぞれの強みを生かした広域連携による観光客の誘致と満足度向上を目指してまいります。

3つ目につきましては、ホームページやSNSのほか、外国版パンフレットの配布や地図アプリへの的確な情報掲載などが重要であると考えております。

4つ目につきましては、引き続き観光協会や観光事業者と連携して、誘客を図ってまいります。

また、新たな交通手段の必要性については、調査研究を進めてまいります。

5つ目につきましては、企業の定期修繕期間の変更は難しいと考えております。

6つ目につきましては、引き続き通信事業者へ改善の要請を行ってまいります。

7つ目につきましては、観光協会や商工団体が事務局を受託している例はありますが、新たな組織の設置は考えておりません。

4点目の1つ目につきましては、汎用性を重視する中での構想をお示ししており、既存の近隣施設の利用や連携についても考慮しながら具体化してまいります。

2つ目につきましては、床面に芝生や軟質舗装を採用することや、植栽による緩衝帯の整備などで反響や音の拡散を抑える対策を考慮してまいります。

3つ目につきましては、閉校した小学校内などに市民向け図書コーナーを設置することは、一つの活用策と考えております。

4つ目につきましては、様々な気象条件が想定されますが、利用者の安全を第一に運用ルールを設ける中で、適切に対応してまいります。

5つ目につきましては、本広場は特定競技のための専用施設ではなく、子育て支援の機能を持ちながら、幅広い世代が利用できる汎用性のある場として整備したいものであります。

6つ目につきましては、本事業の国の補助は、施設整備を前提としたスキームであり、有利な財源を活用しながら、大火後のにぎわい創出と子育て支援につなげてまいります。

2番目の1点目の1つ目につきましては、個人の財産であることから、現時点では考えておりませんが、国の動向を注視してまいります。

2つ目につきましては、有害鳥獣捕獲だけでなく、防災や危機管理といった点も含めて対応できないか調査研究してまいります。

3つ目につきましては、不特定多数が集う場所での電気柵の設置は、子供や高齢者への危険性もあることから、広範囲で設置することは困難と考えております。

4つ目につきましては、実際に捕獲に当たっていただく猟友会と協議の上、検討してまいります。

5つ目につきましては、麻酔が効き始めるまでの間、さらに熊が暴れるおそれがあるため、周囲の安全確保がより重要となります。

また、県内でも扱える機関に限られており、当市においては、打ち手が現地到着するまでに時間を要することから、緊急時における使用については厳しいと考えております。

6つ目につきましては、森林環境譲与税の活用により、計画的な森林整備を進めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度の質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ありがとうございました。

では、2回目の質問をお願いします。

（1）の医療・福祉について。

地域医療構想で、まず県の中越医療圏では、病院間の一定の役割の分担が確立しており、圏域全体として必要な医療機能が確保されているとされております。

上越圏では、上越地域全体で進める地域医療構想は、高度研究医療を担う中核病院の整備を今年度中に合意を進めていますが、この8月、糸魚川市では3か所の説明会がありました。また、9月9日に7年度の第3回目の地域医療構想調整会議を開催した後、現状はどのようになっているかお聞きしたいんですが、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

地域医療構想につきましては、新潟県が主体となって進めております。その調整会議につきましては、県が実施する会議については、今年度、まだ一度も開催をされておらずで、今後、開催予定というふうにお聞きをしておりますが、私ども糸魚川市の市内の地域医療体制、調整会議というものを、これまで年度内に実施してございまして、それについては、糸魚川市の1次救急の医療体制について検討させていただいたものでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

今後、市民厚生でも糸魚川総合病院へ行って説明を受けるということで、そちらのほうで確認したいと思います。

次に、2の市長の説明会の中で、順天堂大学の働きかけをされているという話を聞きます。糸魚川総合病院では富山大にお願いしていますし、今後、新潟大も関係していかななくてはならないというふうに思っております。この両大学との関係性を今後どのように持っていくのか。

また、順天堂大学の位置という形での、どの辺の位置で進めていくのかをお聞きしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えいたします。

まず、新潟大学と富山大学につきましては、市長就任以降、早々に当該病院、学長ともお会いしてまいりまして、今後の糸魚川の地域医療についての情報交換をしてまいりました。その際、他の医局の参画についてもご了解を得てきたというふうに考えております。この11月28日には、順天堂大学の代田学長様とお会いしまして、今後、糸魚川市の地域医療構想についての協議の場を設けていただきたいという部分を要望してまいりました。その後、まだ返事等につきましては、相手方の、今検討中でございますのでお答えすることはできませんけれども、一応要望・交渉については、現時点で進めておるという状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

3大学、またほかの大学を含めて、今後、進めてもらいたいというふうに思います。よろしくお願ひします。

それから、3の救急医療体制を糸魚川総合病院で維持をしていくために、ある程度診療科目の見直しが必要だと思います。見直しの検討を進めているのか、お伺いしたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

林健康増進課長。〔健康増進課長 林 壮一君登壇〕

○健康増進課長（林 壮一君）

お答えいたします。

救急医療体制を維持するためには、ある一定の医師数が必要になります。それで、診療科の維持の問題とはちょっと離れますけども、1次救急の医師を確保するために、今医師会の皆さんといろいろな協議をさせていただいたり、アグリよしだ病院から参画いただいたりということで、今は何とかその人数を確保している状況でございますが、今後、医師の高齢化等に伴いまして医師数が不足する事態も考えられますので、そういったことに対応することについて、検討してまいりたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

次に、懇談会の中で市長も言われておりましたが、今後10年後、開業医が少なくなる中、大学病院の先生とオンラインを通じて診療できるようにすると言われております。このオンライン診療のちょっとイメージがまだ湧かないんですが、市長の考えとしてはどのように考えているかをお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

オンライン診療につきましては、糸魚川病院の山岸病院長ともいろんな情報交換と、一つのペーパーを作ってください、そのペーパーを基に、一旦、当然順天堂大学のほうにもこういう構想があるということでお伝えして、協議の場を設けていただきたいという要望を、また、県でもオンライン診療についての仕組みづくりについては進めておりますので、それと併用しながら、これから実施に向けて整備をしていく段階に入ってくるのではないかとこのように予測されます。

もう一つは、糸魚川市の市の医師会と懇談を持った際には、オンライン診療、また訪問診療について、非常に強い要望がございましたので、できたらそういう部分で、現開業医の負担を軽減すること、また、糸魚川総合病院との連携を含めた上で、これからの構築をしていくという部分では了解を得ているといいますか、一応医師会の皆さんも、その方向に向けて対応していくというようなことも伺っておりますので、この辺につきましては、ぜひ実現性を高くして、今後、各医局、医療関係者と検討、また話し合いを進めていければと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

お互い、医師の方々も軽減できる。また高齢者の方も通わないで済むという形で、お互いいいように進めてもらうようによろしくお願いします。

次に、6番目の福祉の件なんですが、病院まで通える高齢者の方の交通手段の確保、それから病院に通えず、先ほども言いましたが訪問診療の充実を望む声があります。今後ますます独り暮らしの高齢者が増えていく中、支援体制をどのようにするか。交通の手段の面、それから訪問診療の面で、どのように考えているかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山岸福祉事務所長。〔福祉事務所長 山岸千奈美君登壇〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

お答えいたします。

独り暮らしの高齢者の支援というところで、市長からは、地域の支え合いの支援、そして地域包括ケアの推進というところの指示をいただいております、福祉分野におきましても地域の支え合いというところを中心に事業の展開を計画しているところであります。

具体的には、現時点で生活支援体制整備事業という事業が介護保険の事業の中でございまして、通称、地域支え合い推進事業というふうに称しておりますが、こちらの事業におきましては、今のところは15地区で展開されておりますが、介護保険計画、そして実施計画の中できちんと位置づける中で、こちら、先ほど議員おっしゃったような地域の支え合いでの交通の足の確保であったり、その地域地域の課題において、地域の皆様の助け合いの中でできることを、住民の方々が主体で考えていただきまして、そこに福祉のほうは支援、人的な部分もそうですし、委託料という形で計画支援の体制を確保していくというところで進めてまいるといふ計画でおります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

よろしく申し上げます。

医療の最後になりますが、上越の労災病院も、この8年3月より縮小して、3月13日には全ての診療を終了となっております。ますます大変になっていく。早く地域医療構想を進めてもらいたいというふうに思いますので、よろしく申し上げます。

次の2、教育推進について。

1番の学校統廃合で中学校区で地域のコミュニティを残す形で進める方針ですが、まず、小中一貫校で義務教育学校を進めてもらいたいというふうに思っております。

一貫教育学校もありますが、今回私ども、クラブで行政視察で群馬県太田市の義務教育学校、北の杜学園に視察に行きました。中1ギャップの解消や教科担任制、専科教員の配置で、寄り添う指導が可能になり、一つの教育集団として9年間の一貫した義務教育を実施することができ、上級生も下級生も優しく接していることが、今回の調査で見えてきました。校長先生も1名、そのほかに副校長が1名、教頭が2名という配置で、公務の質と向上の効率化を図っています。段階的に応じた教育活動、教科の担任教員が複数人で児童生徒の関係性を築き、ここに指導にも当たっていますし、5年生から完全教科担任制で実施され、課題解決や学力向上に至っております。

市長は、この義務教育学校の進める考えはあるかどうかお聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

現時点で教育委員会のほうには、小中一貫校というふうな将来的な構想を基に検討をして、これからの計画づくりを進めていただきたいという部分でお話をしておりますので、そういう方向を持って対応させていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

一貫教育学校という2つの選択があると思います。小中一貫校の場合は、一つの建物で小学校、中学生が生活できる。また、一貫校の教育学校は、人数が多い場合には2つの校舎で行うというふうに考えられますので、その辺の考えでよろしくお願ひしたいというふうに思います。

次に、2番目の質の高い教育で、11月に総務文教常任委員会で、市内中学校の学力状況についての説明がありました。全国平均に達していない現状で、今後どう進めていくのか。私は、はっきり言って家庭内の学習、家庭学習だと思います。今使っているタブレット端末などを活用して十分できると思います。それからまた、読書、塾等の通う形での質の高い教育を目指すべきではないかというふうに思っておりますが、いかがお考えか教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

小川こども教育課長。〔こども教育課長 小川豊雄君登壇〕

○こども教育課長（小川豊雄君）

お答えさせていただきます。

質の高い教育ということなんですけれども、全国学力・学習状況調査の内容等を見ますと、いわゆる基礎・基本、漢字ですとか計算ですとかそういうところにつきましては、比較的良好な結果を得られているというふうに考えております。

今後の課題といたしましては、やはり子供たちが思考力ですとか表現力ですとか、そういったようなものを深めていくということが重要だというふうに考えております。今年度よりそういった方向に学校の教育の重点を切り替えておりますので、そういった中で充実を図って、学力の向上を図っていきたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

よろしくお願ひします。

私、孫もいるんですけど、タブレットを使わせると目の色変えてやっておりますので、その辺の使い次第では、かなり有効ではないかというふうに思いますので、よろしくお願ひします。

次に、特認校、今、市長のほうから考えていないという話がありましたが、地区懇談会の中でも女性の方から、この自然の豊かなところに学区外からも入学を認めることができる制度なので、中

山間地では特認校を認めてくれないかという意見もありましたが、今後、検討のほうよろしく願いたいというふうに思います。よろしく申し上げます。

それから、(3) 経済活性化について、地域資源と観光の関連で、お伺いします。

ヒスイの活用ですが、新幹線から降りて海を見に来る観光客がたくさんおられます。その方たちはその場で、駅前の中で海岸に降りて、ヒスイ拾いをしたいというふうに考えておりますし、押上海岸までいくにはかなり距離があるということで、駅前のところで、ヒスイの海岸をまねしたそっくりな形でのヒスイ拾いできる場所を観光客に提供できないかって意見なんですけど、そのような考えはないでしょうか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

ヒスイを活用した稼げる観光という部分で、議員ご指摘の糸魚川駅、新幹線駅を降りてからヒスイ探し体験が一番近場でできるのは、ご指摘のとおり押上海岸になるかと思います。模したものということであれば、観光協会のほうでイベント等で活用しておりますヒスイ探しキットとか、そういったものはあるんですが、ちょっと、多分今、議員ご指摘のイメージとは違うものかなとは思っております。

ただ、ヒスイを活用した稼げる観光という部分では、直接的に石を探すという部分以外にも様々な活用方法があると考えております。例えばヒスイは非常にアカデミックな部分があって、日本列島の誕生ですとか、例えば古くから交易がされているですとか、また、ロマンスが感じられるものでいえば、出雲、諏訪、糸魚川のつながりですとか、翡翠婚式というのも以前実施されておりました。そういった部分を様々な、それ以外の活用される部分があると思いますので、そういった部分をさらに磨き上げて売っていくような形を取ってまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

一つの意見として、よろしく申し上げます。

それから次に、広域観光の情報発信ですが、糸魚川独自で発信されております。この形で発信で、今度インバウンド客を白馬、小谷、妙高の方を含めた広域観光としての情報発信をしていくべきだと思います。例えばスキー場の紹介を、白馬、小谷、妙高のスキー場の紹介、もちろん糸魚川のスキー場の発信もその中に入れますし、夏山の登山等も3市の案内をまとめて、やる。インバウンド客は、かなり日数、休みを取って来られますので広範囲にわたって楽しみたいというふうに思っておりますので、その辺の案内をインバウンド客が分かるように発信してもらおうというふうに思っておりますし、行くための交通手段も、その辺の一緒につけてもらいたいというふうに思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

ご指摘の広域観光連携という部分で今、白馬、小谷、妙高というお声をいただいておりますが、それ以外にも上越やお隣、朝日町ですとか、これまでも取組と一緒に進めている自治体がございます。自治体ベースではなくて、実際に民間の方々同士かなり強いつながりで実績を残されている例もございますので、そういった部分も含めて、またご指摘の交通手段についても、モデルコースの紹介ですとか、そういった部分の発信は可能かと思っておりますので、引き続き取組には力を入れてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

よろしく申し上げます。

次に、インバウンド客の発信、また企業の支援などに交流観光系の女性、国際交流員の方がおられますが、この方のインバウンド客に向けての情報発信はどうやっているかお聞きしたいんですが、よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

今、糸魚川市からのインバウンドへの直接的な情報発信のツールは、観光協会が持っておりますDISCOVER ITOIGAWAというウェブサイトがメインになっております。こちらへの英語案内の掲載等をメインに、当課の国際交流員が実施しているというふうにお考えいただければと思います。

さらに、市内でインバウンド誘客を推進したい事業者様に、直接そのCIRを、国際交流員を派遣させていただいて、お困り事相談からお店の中の表記の部分ですとか、そういったものの支援も今はさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

その市内の業者の方には、英語表示とかをやるという形で、かなり助かっているという声も聞いておりますのでよろしく申し上げます。

それから次に、外国人の白馬のスキー客の取り込みについてなんですが、4番目、シャルマン、シーサイドのスキー場のマイクロバス、ワゴン車を使って朝一番に来られるJR大糸線の増便バス、これは10時ぐらいに着くんですが、それに合わせて駅からスキー場までの送迎ができないか、考えはあるか、ないかを伺いたいと思います。いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

現行の体制ですと、シャルマン火打に向かうバスに、その大糸線の便、今ご指摘の10時に着く便が合っているかと言われると、そういった部分がちょっと課題かとは思っておりますので、公共交通といいますか、そういった既にあるシステム以外で新たに必要になるようなインバウンド客が降りてくるようであれば、またスキー場とも相談させていただく中で検討してまいりたいと考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

スキー場のマイクロバス、またワゴン車使って、攻めの観光というか、逆にインストラクターの方も、平日ですとかなり人数がおりますので、その方もターゲットとして狙うのも面白いんじゃないかというふうに思います。よろしくをお願いします。

次に、市内企業の定期修繕のときに、宿泊場所が観光客の予約と重なって、定期修繕の予約が観光客より遅く予約するため、そこの空きのところしか定期修繕の方が宿泊できないと。定期修繕というと、2週間とか20日ぐらい定期修繕にかかりますので、予約が遅くなった分の宿泊客が、観光客が来ると、そこから出ていかなきゃいけない。出ていくと、そこにはもう、糸魚川には空きがない。今回も上越までホテルで、その間過ごして、上越から修繕場所まで通ったということ聞いております。この日程、できたらその企業に早めに日程を出してもらって、その予約を早めに入れてもらえれば、宿泊のほうも予約が早めに押さえられるという形で、その間は大丈夫だというふうに聞いておりますので、その辺の企業間との関わり、観光客の面もありますが、まず企業の方の宿泊の優先をできないか、お願いしたいというふうに思いますし、できましたら駅前のホテル誘致も、市として進めてもらいたいというふうに思っておりますので、このホテルに関して手だてはないかお聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

先ほど市長答弁にもありましたが、定期修繕をずらすというのは、少しやはりなかなか難しいものがあるというふうに捉えております。市内の宿泊キャパシティですが、令和元年、コロナ前から比べれば大幅にやはり減少しております。令和元年ですと39施設で約2,000人の1日の宿泊規模がございました。それが令和7年になりますと、30施設で約1,500人に減少しております。定期修繕で1日最大泊まれる方が、今私の想定といいますか、聞いている情報で言いますと、2つの大きな企業様の修繕が重なったときに最大で1,000人ぐらいの宿泊が1日に入ること、1,500に対して1,000ですので、単純計算では物理的には余裕がございます。

ただ、昨今の人材不足で稼働率を落とされているという現状もお聞きしておりますので、これか

ら食と泊を分離するとか、何とか泊まっていただくような工夫が必要でないかというふうに考えておりますので進めてまいります。

また、ご指摘のホテルの誘致という部分につきましては、市内でホテル建設を目途として土地を購入された企業様がございますので、そういった方々にとっては、その先の建設に向けて動いていただきたいということで、お願いはしてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

ぜひともお願いしたいと思います。

それから、次のマリンドリームに関しては、先ほど中村議員からも言われましたが、防災の面からにおいても改善のほうをよろしく願います。特に副市長、よろしく願いたいというふうに思います。

それから次に、7番の糸魚川市の各種大会、イベント等を多く実施されております。その中で人口減少・高齢化によって、活動にも影響が出ております。各種団体が中心となり活動しておりますが、事務的な作業が多くなり、きめ細かな対応が必要ということで、個人への負担が大きくなっています。できましたら市が中心となって、事務局の支援する第三セクター的組織を立ち上げてもらいたいというふうに思いますので、よろしく願います。

次に、（4）駅北子育て支援複合施設の見直しの方針で、まず、市長の選挙公約に、建設の見直しの中身の縮小、管理費の削減などを見直すものと考えておりました。それが、建設中止を議会への説明なく実行され、そして、広場案が出されたその内容、金額等の説明もなく、今回計画案として市民の説明会で公表されております。この案は、市民の理解が得られたのか、また、予算は大丈夫なのか多くの疑問が残っています。順序がおかしいのではないかというふうに思いますし、また、室内遊戯場は、既存施設の利活用を含め実施するとしていましたが、安価な金額で有効活用できるものを考えているのか。また、判断は慎重に進めていくべきと思います。

そこで、最初の海望公園の活用でお願いしたいと思います。

まず1番、計画案の広場を確認しましたが、見晴らしやぐら、管理棟トイレ、噴水等、道路を挟んで20メートル離れた海望公園に同じものがあります。地区の方が管理している場所であり、きれいにしております。そこに飛び跳ね遊具を設置すれば、その場所もあります。海望公園で十分ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

議員のご質問は、今の広場の関係、海望公園で代用できないかということのご質問かというふうに思っておりますけれども、今回ももとの計画から、今の計画地での子育て支援を中心とした機能といったことでの計画を進めてきたところであり、国の補助金のスキームもそのような形に

なっておりますので、海望公園の施設との連携といったところは検討していきたいと思っておりますけれども、そちらでの整備といったところは想定はしておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

1つお伺いしたいんですが、見晴らし台等、日本海を望める虹の展望台もあります。国からの補助金の活用も、その海望公園の見直しという形での補助金が可能かどうか、お伺いしたいんですが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

今の国の補助申請をしております計画の中身につきましては、今の計画地の中でといったところで想定、計画申請をさせていただいておりますので、海望公園での施設整備について国の補助金というのは難しい、できないというふうに理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

要は解体後、この広場を設計するに当たって、ある程度造って、海望公園もある程度改良するという形での、それは可能なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

やはり計画地としては、今想定をしております場所がその計画地という形になっておりますので、海望公園ですと道路を挟んで向かい側というようなことになっておりますので、その部分について、計画に含めていくといったところは、ちょっと今ここで絶対ということはちょっとなかなか申し上げられませんが、難しい、できないというふうに私は理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

また、これも案が出てくると思いますので、そのときによろしくお願いします。

次に、2番目、懇談会の中で、町なかの騒音を心配する声がありました。アクリル板など景観を確保して、防音対策できるかお伺いしたいんですが、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

どういう対応をしていくかというところは今後の検討でありますけれども、市長の最初の答弁でもお答えしましたとおり、そういったところについての対策といったところは、今後考えてまいりたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

同じく市民の方から、図書館はどうかという話も上がってきました。市長は、今ある図書館を建て替えるは考えていないというふうに言われておりますし、小学校などに市民向けの図書館コーナーを設けたいというふうに考えておりますが、ちょっとイメージ的にあれなんです、今市役所の横にある図書館をそのまま継続してやるのか、それともそこを分散して、小学校に持っていくのか、その辺ちょっとお聞きしたいんですが、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

川合生涯学習課長。〔生涯学習課長 川合三喜八君登壇〕

○生涯学習課長（川合三喜八君）

現在活用しております小学校については、図書館をその中に設けるということは現在考えておりません。今、本庁隣の市民図書館につきましては、老朽化が進んでおりまして、昨年度から図書館のあり方検討会を設置いたしまして、今後どうするか検討を重ねております。

なお、その結果につきましては、今年度中に報告書を取りまとめる予定にしておりますので、まとも次第、また議員の皆様にご説明させていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

報告のほう、よろしくお願いします。

次に4番目、夏の高温時、大屋根がありますし、扇風機でしのげると思います。それから冬、北西の風が強くなると、その対策をどのように考えているのかお聞きします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

夏の利用、また冬の利用というところで、今広場のほうでは屋根の設置といったところを想定しておりますけれども、この屋根の部分につきましては、費用的な面でもかなりの影響がある部分があるのではないかなと、影響する部分が大きいのではないかと、大きさによってですね。そういったところも含めながら、今、冬場の対策、ご指摘の部分の冬場の対策等も含めて、今後、検討はさせていただきたいと思っておりますのでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

海望公園の移動が可能でしたら、解体場所のスペースとして、スケートボード場の施設もできればいいんじゃないかというふうに考えております。このスケートボード場の施設は、扇形の木造のジャンプ台や練習用の施設などを使えば、簡単にはできる施設であります。実際、今ボードをやっている子供たちが、糸魚川の町なかで、青海のシーサイドパークまで行って練習をしているということになっております。暗くまで練習しておりますので、こちらのほう、シーサイドパークの街灯等、今切れているという状態でありますので、その辺の、早急によろしくお願ひしたいと思います。これはシーサイドパークのスケートボード場という形でのお願いになりますが、よろしくお願ひします。

次に、海望公園の遊具の設置が可能とした場合に、解体跡地に駐車場として活用できないか。そこを拠点に町なかに出ていく方も考えられます。高額な予算を使わずに、今後のために更地ないし駐車場として活用できないか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

先ほど来申し上げておりますように、本施設の整備というものは、もともと復興まちづくり計画に基づきまして、また、今の計画地で計画が始まっておりますので、建物は建てないという、中止ということで今方針のほうは転換しておりますけれども、当初の目的を踏襲した中で、施設整備を前提として計画を進めさせていただいておりますので、そのような形、今、議員ご指摘のような形で、駐車場にして更地というような想定のところは、考えていないところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

利根川議員。

○6番（利根川 正君）

駅北の最後になりますが、期限もない中、計画の先送りで市民の意見が反映されていないで、広場、室内遊戯場の代替案が出てきております。今後、広場の設計金額、室内遊戯場の金額を考えると、見直しも必要ではないかというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

次に、2番の熊対策について、よろしく申し上げます。

各市町村が、柿の木の伐採に交付金事業として支給しております。糸魚川市でも農道脇、河川の脇、また水田のところなどに柿の木があります。これは絶好の餌場となっております。嗅覚もよく、柿などよく見えるため、町なかの庭先であっても、町の中まで熊が来ます。子熊は、ちょうど1年半過ぎで親離れの時期になって、この8月過ぎぐらいから親から離れ、頻繁に迷い込むようになっております。熊は、学習能力が高く、毎年、餌があれば来るようになります。

伐採して、餌となるものをなくすことが一番で、よい例として、長岡市では、柿、栗を対象に、市内の町内会、農家組合の団体などに最大10万円で伐採の支援金を交付しており、伐採には、団体で行われるため、よい結果が出ているというふうに聞いております。また、飯山市では、柿を販売するところもあります。この場合、柿の木にトタンを巻き付けて、熊が登れないようにしているため、そのトタン代を支給しているところもあります。糸魚川市でも、ぜひ検討してもらいたいと思います。

最後に、熊被害も糸魚川市では2件あります。危ない場面もありました。今年、能生では、ホームセンター裏で新聞配達員が約3メートル先で熊を目撃したという情報も入っております。注意喚起は大変大切です。見かけたらすぐ通報してもらい、ほかの方に分かるよう、また山に入られる方も危険と照らし合わせておりますので、それを知らせることが大事だと思いますので、よろしく申し上げます。

以上で、質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（保坂 悟君）

以上で、利根川議員の質問が終わりました。

ここで暫時休憩いたします。

再開を3時15分といたします。

〈午後3時03分 休憩〉

〈午後3時15分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、宮島 宏議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）